

ロジスティクス業務をサポートする Axis ネットワークカメラ 映像監視システムを活用し、顧客満足度の向上や業務を効率化 株式会社 盛運（貨物運送事業）



企業名：
株式会社盛運

所在地：
埼玉県

業種：
交通機関

アプリケーション：
防犯、業務効率

Axisパートナー：
三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社

課題：セキュリティ強化への高まるニーズ

競争の激しいロジスティクス業界ではつねに顧客満足度を高める努力が求められ、とくに事故や盗難の防止は最優先課題に位置づけられています。埼玉県を拠点に運輸・倉庫事業を幅広く展開する株式会社盛運でも、セキュリティ強化のために県内各所に点在する倉庫・駐車場および事業所を一括管理する映像監視システムの構築が急がれていました。

解決策：拡張性の高いIP映像監視システム

当初はアナログ監視カメラの採用が決まっていたが、同社でIP電話の導入や社内システムのIT化が推進されており、今後ますます発達するネットワーク社会を考慮してAxisネットワークカメラと三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社のネットワークカメラ用録画・配信サーバ「ネカ録」によるIP映像監視システムの導入を決定しました。

主な決定理由は①ネカ録のユーザーフレンドリーな操作性 ②Axisネットワークカメラの画質の良さと安定性 ③導入コストなどがあげられます。

特に、コスト面ではアナログカメラのように専用のケーブル敷設が不要で、PoEを利用してLANケーブル1本で電源供給と画像配信が行えるなど、監視システム専用の配線が必要としない点が大きな要因となりました。

現在、すべての倉庫、営業所をはじめ本社事務所、会議室等にAXIS 211をはじめ約30台のネットワークカメラが設置され、フル稼働しています。

効果：顧客サービスの向上と業務を効率化

防犯効果を高めるために導入したネットワークカメラによる映像監視システムでしたが、その効果はセキュリティや事故防止にとどまらず、業務全体の管理にも役立っていると高い評価が寄せられています。各営業所の配車状況や倉庫内の集荷率、社員の動向までがネットワークカメラを通じて確認できるなど、業務の効率化にシステム用途が拡大しています。

“IP映像監視システムを導入して防犯だけでなく、従業員も見られているという意識が働いて、業務全体の効率化が進みました”

株式会社 盛運 システム課 逢坂忠課長代理

幅広い製品ラインナップ

アナログ監視カメラの導入を予定していた同社が、最終的にAxisのネットワークカメラと「ネカ録」との組み合わせによるIP監視システムに決定した最大の理由は、録画・配信サーバ（ネカ録）の操作性の高さと、設置環境に応じたカメラが選択できるAxis製品の幅広いラインナップでした。

オフィス内は美観を損なわず小型で目立たないAXIS 207、倉庫にはイーサネットケーブルで映像伝送と電源供給が行えるPoE対応AXIS 211、AXIS 221、とくに駐車場には夜間撮影も可能なデイトライト対応のAXIS 221を設置、設置環境に合わせて選べるAxis製品の豊富なラインナップが、他社製品をおさえて導入した理由にあげられています。

「Axisの製品は画質のよさやアプリケーションとの高い親和性に加え、デザイン性にも注目していました。たとえばオフィス内に設置されたAXIS 207はサイズもコンパクトで監視カメラのイメージを一新しているため、オフィスの雰囲気害することなく社員にも威圧感を与えません。」（逢坂課長代理）。

防犯から業務の効率化に有効活用

防犯目的で導入した監視カメラシステムが、さまざまな業務の効率化に効果が現れました。

「以前は車両等の稼働率をチェックするために倉庫や駐車場に出向いていましたが、システム構築後はモニタ上で確認できるためチェックに要していた時間を他の業務に傾注することができます」（逢坂課長代理）。

また、万が一事故が起きた場合でも録画された映像を社員教育に活用して再発防止に努めるなど、業務の安全性の向上に役立てられています。

さらに在席確認などオフィス内の社員の状況も把握でき、社員もまたネットワークカメラを意識することで安全性や仕事への集中力が高まり、業務全体の効率化がはかれたといえます。

Axisのネットワークカメラとネカ録のIP監視システムの導入により、防犯効果だけでなく社員の意識改革や業務効率が高まり、その結果、顧客サービスの向上につながりました。

Axisネットワークカメラへの期待と今後の展望

同社ではAxis製品およびネカ録による監視システムをこれからもさまざまな業務に応用したいと考えています。

たとえばカメラと音声システムをリンクさせ、駐車場や倉庫内で不審者等を発見した際には警告をアナウンスするなどよりセキュリティを高めるのはもちろん、将来、海外にまで拠点が拡大したときも本社と世界を結ぶ重要な管理・コミュニケーションシステムとして活用したいといっています。

「今後は、各責任者がそれぞれの事業所にいながらネットワークカメラを介して会議が出来るようにしたいと考えています。

会議のたびに現場を離れ本社まで来るのは責任者にとっても負担ですし、全営業所が会議の様子をモニタリングすることで情報の一元化が図れ、さらに仕事がしやすくなると思います」（逢坂課長代理）業務の効率化、スリム化をはかり、それまでの労力を顧客サービスに傾注することにAxisのネットワークカメラの活用が予定されています。

これからもネットワーク環境さえあればいつでもどこでも稼働できる利便性や多彩な映像アプリケーションに対応する汎用力、高度なネットワーク機能など、Axisならではの製品特性にユーザーからの期待が高まると考えられます。

